

枚方公済病院 皮膚科の専門は 皮膚外科だけではありません!



令和6年4月に着任しました立花隆夫皮膚科部長の専門は **皮膚外科** は勿論、
アレルギー疾患（アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、蕁麻など）、**創傷治癒**（褥瘡を含む）もあります。

皮膚外科

年間400例前後の手術を、特に悪性腫瘍を取り扱ってきたことから、皮膚科は「センチネルリンパ節生検」の施設基準を取得しています。



◀ 基底細胞癌の口唇反転皮弁

有棘細胞癌の植皮 ▶



皮膚アレルギー

皮膚科専門医のみならずアレルギー指導医でもあることから、皮膚科は「アレルギー専門医教育施設」の認定と共に、「内服・点滴誘発試験の施設認定」も受けています。

創傷治癒

褥瘡ではガイドライン策定、DESIGN®作製に関わっており、院内では対策チームを担当しています。また、糖尿病性足病変、うつ滯性皮膚炎ではそれぞれ「下腿創傷処置管理料」、「静脈圧迫処理管理料」の施設基準を満たしています。

皮膚外科が注目されたため皮膚腫瘍の紹介患者さんが増えています。有難いことですが、皮膚アレルギー、創傷治癒も負けず劣らず頑張っていますので、蕁麻や糖尿病性足病変、さらには水疱症疾患などの患者さんもお気軽にご紹介ください。また、副医長の塙本先生は、現在も滋賀医大で月1回のレーザー外来を担当しており、立花部長も美容皮膚・レーザー指導専門医の資格を持っていますので、治療にお困りの患者さんがあられましたら遠慮せずに相談下さい。

皮膚科副医長

塙本 雄大 (つかもと ゆうだい)

平成26年に近畿大学を卒業、平成27年からPL病院に勤務。平成29年からは英国CRO(医薬品開発業務受託機関)に3年間勤務し、帰国後の令和2年に滋賀医大皮膚科に入局。また、その後は、淡海医療センター、日野記念病院に勤務。趣味は、身体を動かすことであり、フィットネスにウエートトレーニング目的で週2回ほど通っています。



皮膚科部長

立花 隆夫 (たちばな たかお)

昭和56年、関西医大を卒業後に京都大学皮膚科に入局。京都大学では、3年間の福井日赤勤務を挟んで、平成16年までの20年間在籍。また、その後は、天理よろづ相談所病院、滋賀医大、大阪日赤、星ヶ丘医療センターに勤務。趣味は、ドライブとスポーツ(ゴルフ、水泳)で、週2回ほど近くのスイミングスクールで1時間/日ほど汗を流しています。



国家公務員共済組合連合会
枚方公済病院

代表電話

072-858-8233

